

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ文の里教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援 お一人おひとりに合ったオーダーメイドの療育を実施しています。	保育士、心理師、言語聴覚士の専門的な視点から、それぞれのお子さまの特性を理解し、お子さまに合った環境、教材で支援を実施しています。またいつも楽しんで通っていただけるよう、新しい教材や新しいプログラムを取り入れております。	最新の療育方法や支援手法を学ぶ機会を増やしていくとともに、色々なパターンを設定した実践形式で行う内部研修も積極的に取り組んでまいります。
2	保護者支援の充実 保護者へのフィードバックや面談を行い、家庭でも支援が継続できるよう助言しています。	フィードバックを丁寧にし、当日の支援の内容のほかにもご家庭の様子やお困りごとを伺うようにしています。また日々のフィードバック以外でも、ご兄弟のことも含めご相談がある場合には、随時面談の機会を設けております。	保護者様に随時個別面談の機会があることを十分に周知できていないようなので、定期的にお知らせするようにいたします。
3	園との連携 お子さまの園に訪問し、お子さまの園での様子や園との情報共有、連携を行います。	保護者様からご要望があれば、園に訪問しお子さまの様子を伺い、園での困りごとへの助言を行います。園と連携することでお子さまへの支援の方向性が一致し、よりよい支援の提供に繋がっていきたくと考えております。	園の先生にも事業所でのお子さまの様子や取り組みを見ていただく機会を作っていたいただけるようなお声がけをしております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援、地域連携の不足	地域支援や地域連携を望まれない保護者の方が多いので実施が難しい状況です。	事業所として区のイベントに積極的に参加したり、小集団療育で散歩の時間を取り入れ、地域の方と関れる機会を作っていますが、他にもできることを検討してまいります。
2			
3			